

大平洋金属株式会社 震災復興支援活動

東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県気仙沼市にて、復興に役立てて頂くため、かさ上げ用等の土木資材として当社路盤材製品を2万トン無償提供させて頂きました。また、八戸市内各所でも災害復旧用土木資材として当社路盤材を使用させて頂いております。

1.当社路盤材使用状況

9月に野田総理が気仙沼を訪問した際に歩いた道路にも当社路盤材が使用されました。



2.新聞掲載記事

路盤材の無償提供について、現地の新聞社にて取り上げて頂きました。



目録を手渡す東社長

スラグは来月、八戸から台船で気仙沼に運ばれる予定。

気仙沼市は23日、青森県八戸市の大平洋金属（東洋幸社長）から2万トンの路盤材の無償提供を受けた。地盤沈下した道路の応急的なかさ上げ工事に使用する。金属を溶融したときに出る鉱滓（こうさい）「フェロニッケルスラグ」で、路盤材のほか、コンクリート骨材、護岸材などにも活用されている。この日、東社長が市役所を訪問し、加藤慶太副市長に目録を手渡した。市土木課によると、現在、アスファルト舗装の下に敷く砕石が震災の影響で不足しており、スラグはこの代替えとして使用できる。2車線の道路を70センチ以上上げた場合、2万トンは延長約2.5分になるという。

道路かさ上げに活用

八戸から路盤材2万トン 気仙沼

2011年8月25日付
三陸新報一面より